

令和元年度 第 2 回 蕨市総合教育会議

令和 2 年度 教育事業の概要（案）



令和 2 年 2 月 7 日
蕨市・蕨市教育委員会

○蕨市教育大綱（案）（抜粋）

Ⅱ 蕨市の教育の目指す姿

基本理念

生きる力を育み
ともに学び
未来を拓く蕨の教育

基本方針

- Ⅰ 確かな学力と豊かな人間性をもち
たくましく生きる子供の育成
- Ⅱ 交流の輪を広げる
生涯を通じた学びの支援

基本目標

- ① 学びあい高めあう学校教育の充実
- ② 生涯学習を支える社会教育の充実
- ③ どこでもだれもが親しめる生涯スポーツの充実



学びあい高めあう学校教育の充実

1 少人数学級推進事業（35 人程度学級）

- ・ 予 算 額：2,553万6,000円
- ・ 事業概要：

国・県では、小学1・2年生において35人学級を実施しているが、蕨市では市独自に3年生から6年生においても35人程度学級を行っている。

これにより、少人数での学習指導・生活指導を行い、低学年からの円滑な引き継ぎを行うとともに、一人一人の児童へのきめ細かな支援の充実を図る。

（担当＝学校教育課）



▲35人程度学級の実施による個に応じた指導

2 教育センターの効果的な運用

- ・ 予 算 額：1,949万4,000円
- ・ 事業概要：

これまでの教育相談、環境改善のための支援、適応指導、日本語特別支援、教職員研修・学校コーディネイト事業のうち、特に教職員研修について充実を図る。

教育センターに無線LAN環境、研修用タブレットPC、大型テレビ等を整備し、新学習指導要領をはじめ、最新動向に基づいたICTを効果的に活用するための教職員研修の充実を図るほか、教材用PCを整備し、教育センターにおいて教育情報や教職員の優れた教育実践に係る資料等を集約し、教職員が必要なデータを必要なときに共有し、個別に研修できる環境も併せて整備する。

（担当＝学校教育課）



▲ICTを効果的に活用するための教職員研修

3 ALT を活用した外国語教育

・ 予 算 額 : 3,785万6,000円

・ 事業概要 :

令和2年度から小学校において新学習指導要領が全面実施され、年間授業時数増及び小学校5・6年生において、外国語の教科化となることや、中学校においても令和3年度から外国語の授業を英語で行うことを基本とするようになるなど、外国語教育が大きく変化する。これらの変化に対応し、外国語教育のより一層の充実を図るため、小・中学校全校にALTを1名ずつ配置し、児童・生徒の外国語活用能力の向上を図る。

(担当＝学校教育課)



▲外国語指導助手を活用した外国語教育

4 東京2020オリンピック学校連携競技観戦

・ 予 算 額 : 93万4,000円

・ 事業概要 :

オリンピック・パラリンピックの開催を機に、オリンピック・パラリンピック教育を学校教育の一環として実施し、次世代を担う児童・生徒にオリンピック精神をレガシーとして残すことを目的としている。このことから学校連携観戦チケットを購入し、埼玉県を会場とするバスケットボール・サッカーを観戦する。対象は、小学校5年生、中学校のバスケットボール部・サッカー部の部員、及び引率教員。

(担当＝学校教育課)

5 学校 ICT 環境の整備

- ・ 予 算 額：3億1,263万9,000円
- ・ 事業概要：

次代を担う子供たちのための教育環境整備の一環として、国が示すGIGA（＝Global and Innovation Gateway for All）スクール構想にあわせ、令和5年度までに全児童・生徒に各1台のPC端末を整備する。あわせて、校内無線LANの整備、指導者用PC端末、各教室への大型提示装置等の整備を行い、校内のICT環境を充実させ、令和2年度から順次実施される新学習指導要領を見据えた、児童・生徒のICT活用能力の向上を図る。

（担当＝教育総務課・学校教育課）

6 コミュニティ・スクール事業の推進

- ・ 予 算 額：9万円
- ・ 事業概要：

学校経営・運営や学校課題に対して、広く保護者・地域住民の皆さんが参画できるよう、東小学校、塚越小学校、東中学校の3学校区を1地区としたコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入している。共通した目指す児童・生徒像『自分を大切に思える』子供を育てよう』を具現化するために、「地域とともにある学校づくり」を推進していく。

（担当＝学校教育課）



▲東小学校・塚越小学校・東中学校
学校運営協議会



生涯学習を支える社会教育の充実

1 わらび学校土曜塾

- ・ 予 算 額：601万9,000円（県補助金・416万8,000円）
- ・ 事業概要：

地域及び家庭が連携・協力し、子供たちの自主学習及び体験学習等を通して学ぶ楽しさを教え、学習習慣の定着及び基礎学力の向上を図ることを目的とし、子供たちの自主学習（宿題、課題等）の支援や、体験学習等を行う。土曜日に小学校施設を使用し、運営は各小学校区に設置した実行委員会で行い、元教員や大学生、地域のかたがスタッフを務める。

（担当＝生涯学習スポーツ課）



▲わらび学校土曜塾(写真は北小学校区)

2 音楽によるまちづくり

- ・ 予 算 額：325万円
- ・ 事業概要：

音楽を中心とした蕨市の芸術文化の振興と、その推進を図るとともに、音楽により蕨のまちの魅力を発信することで賑わいを創出し、蕨市のイメージアップを図ることを目的とする。令和2年度は「蕨市民音楽祭の開催」をはじめ、「音楽関連情報の発信」、「小・中学校への音楽家の派遣」を予定。

（担当＝生涯学習スポーツ課）



▲蕨市民音楽祭～第2回昭和歌謡 紅白歌合戦～
（令和元年9月1日開催）



3 河鍋暁斎記念美術館との連携

- ・ 予 算 額：5万3,000円
- ・ 事業概要：

歴史民俗資料館は令和2年度に開館30周年を迎えるため、常設展展示替えの一環として、平成27年に蕨市と連携協力に関する協定を締結した河鍋暁斎記念美術館（南町4丁目）の紹介コーナーを設置する。

（担当＝歴史民俗資料館）

4 市民や社会教育関係団体・PTA等を対象とした人権講演会の開催

- ・ 予 算 額：44万7,000円
- ・ 事業概要：

さまざまな場面で、人権問題をわかりやすく、また、身近な問題として学習できる事業を展開。お互いを尊重する心を育むことで差別のない社会を実現するために、公民館等を会場として「人権尊重社会をめざす市民のつどい」等の人権講演会を行い、人権教育の推進を図っている。

（担当＝生涯学習スポーツ課）



▲令和元年度 蕨市PTA連合会研究協議会・人権講演会・青少年健全育成をすすめる蕨市民大会（令和元年12月7日開催）



どこでもだれもが親しめる 生涯スポーツの充実

1 各種イベントやスポーツ教室等の開催

- ・ 予 算 額：397万1,000円

- ・ 事業概要：

毎年恒例となっている市民ロードレース大会や市民水泳大会のほか、体力テストや少年スポーツ教室、民間温水プールの借り上げ事業等を実施し、健康・体力づくりに親しめる機会を提供する。

(担当＝生涯学習スポーツ課)



▲第60回市民ロードレース大会

